



平成24年7月12日

各位

上場会社名 株式会社 ペPPERフードサービス
 代表者 代表取締役社長 CEO 一瀬邦夫
 (コード番号 3053)
 問合せ先責任者 管理本部 総務部長 猿山博人
 (TEL 03-3829-3210)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,738	136	134	105	4,309.64
今回修正予想(B)	2,533	26	11	△18	△738.79
増減額(B-A)	△205	△110	△123	△123	
増減率(%)	△7.5	△80.9	△91.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	2,483	43	44	△16	△660.48

平成24年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,542	327	326	268	10,999.84
今回修正予想(B)	5,313	183	168	109	3,842.90
増減額(B-A)	△229	△144	△158	△159	
増減率(%)	△4.1	△44.0	△48.5	△59.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	5,182	133	130	28	△1,154.34

修正の理由

平成24年12月期第2四半期累計期間につきましては、売上高の増大のために顧客サービスの充実、新商品の開発・販売促進活動などのマーケティング力の強化を図るとともに、安心・安全な商品を提供できる体制の強化と、同業他社との差別化を図る顧客サービスの提供に努めてまいりました。

ペッパーランチ部門では、海外店舗を参考にメニューバリエーションを増やし低価格メニュー導入、グランドメニュー変更をおこない、幅広い層の顧客の取込みを図ってまいりました。

レストラン部門では、既存ブランドであるステーキ業態の「炭焼ステーキに」をはじめ、とんかつ業態の「こだわりとんかつかつき亭」、洋食業態の「ステファングリル」の3業態を更なるサービスの向上を徹底するとともに、業態や立地条件ごとのメニュー政策の見直しによる顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

しかしながら、グランドメニュー変更、低価格メニュー導入により客数増にはつながったものの、客単価が予定よりも減少してしまい売上増とはなりません。また、主力商品の食材原価の高騰から原価率の上昇があり、全社的にはコスト削減を徹底し販売管理費の削減に努めてまいりましたが、売上、利益ともに計画通りの数値を達成することができませんでした。

営業外項目では、貸倒引当金繰入額16百万円計上いたしました。また、特別損益項目では、収益性が低下した店舗が発生したため減損損失を13百万円計上する見込みであります。

これらの結果から、売上高が205百万円、営業利益が110百万円、経常利益が123百万円、四半期純利益が123百万円当初の予想から下回る見込みであります。

以上から当第2四半期累計期間の業績予想を修正するとともに、通期の業績予想につきましても、下半期の売上高及び利益の見直しを含めて修正いたします。

(注)上記に記載しております業績予想に関しましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績等は記載の予測と異なる可能性があります。

以上